

# 中1社会（地理） 網羅演習 解答・解説

## A 基礎必須

- ・A01：①A、②B、③C、④F。対応する地名は①朝鮮半島、②ヒマラヤ山脈、③ガンジス川、④ホルムズ海峡。各1点。
- ・A02：ソウル、平壤、ハングル、重工業・造船業・ICT産業など。
- ・A03：1948年、キムチ・ビビンバなど、チマチョゴリ、ソウル・釜山など。
- ・A04：①東北、②華北、③華中、④華南。
- ・A05：黄河、長江、東北平原、世界の工場。
- ・A06：東南アジア諸国連合、1967年、インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポール・タイのうち二つ、東南アジア。
- ・A07：デルタ、稲作、モンスーン、プランテーション。
- ・A08：ニューデリー、ガンジス川、ヒンドゥー教、カースト制度。
- ・A09：デカン高原、ベンガル湾、英語、時差を利用した海外との連携など。
- ・A10：コーラン、礼拝、OPEC、ホルムズ海峡。
- ・A11：フィヨルド、平野、ライン川またはドナウ川、アルプス山脈またはピレネー山脈。
- ・A12：ロンドン、イングランドなど、EC、北大西洋海流。

## B 標準

- ・B01：地域名各1点、二地域について「地域名―地形―農産物」の対応がそろっていれば説明1点。例：華北―華北平原―小麦・とうもろこし、華中―長江中下流域―米、など。
- ・B02：安価な労働力、石炭・石油などの資源や大きな市場、沿海部への外国企業進出などを組み合わせる。
- ・B03：デルタは河口の平らな土地で水を得やすく、モンスーンは雨をもたらすため稲作に適する。
- ・B04：植民地支配のもとで輸出用作物のプランテーションが発達し、現在は外国企業の進出などで工業化が進んだ。
- ・B05：資料2と一致する国名・輸出品。課題は価格下落時の収入減、森林減少、単一作物依存など。
- ・B06：英語教育で国際的な仕事に対応できる人材が育つ、時差を利用して海外企業と連携できる、など二つをICT産業に結び付ける。
- ・B07：資料3と一致する国・輸出品・2022年。
- ・B08：OPECは産油国の組織で、ホルムズ海峡は石油輸送の要地であるため、資源の生産調整と輸送路が国際関係に結び付く。
- ・B09：北部のフィヨルド、中部の平野や国際河川、南部のアルプス・ピレネーなど。選んだ地域の形成・位置説明まであれば満点。
- ・B10：①アルプス以北の気候1点、②地中海沿岸の気候1点、③両地域の農業・作物の対応1点。例：西岸海洋性気候、地中海性気候、前者は牧畜・後者はぶどう栽培。3点問題として採点する。

## C 資料・活用

- ・C01：①華中、②東北。
- ・C02：①ブルネイ（石油製品と液化天然ガスの両方）1点、②インドネシアの石炭・パーム油・鉄鉱石など1点。資料の国名・品目に基いて採点。
- ・C03：①スリランカ、②2022年。
- ・C04：①プランテーション1点、②生物多様性の低下・土壌流出など1点。森林減少以外の環境問題として妥当なら正答。
- ・C05：①氷河の体積、②5年、③20%減。①②がそろって1点、③で1点。割合は「20%減」または同じ意味の表現を正答とする。
- ・C06：一つの作物に依存すると価格下落や不作で収入が大きく減るため、複数の産業・作物へ分散する。
- ・C07：南アジア。ヒマラヤの雪解け水やガンジス川、モンスーンの雨などが農業用水を支える。
- ・C08：共通点は外国企業・市場・交通を生かした工業化。違いは中国では沿海部の工業化と世界の工場化、東南アジアでは国ごとに工業化の時期や輸出品が異なる点など。
- ・C09：例：ヒマラヤとガンジス川、モンスーンを結び付けると、南アジアで稲作がさかんな理由を説明できる。

## D 授業プリント補充確認（配点外）

---

- ・ D01：ハングル＝言語、キムチ＝食文化、チマチョゴリ＝衣文化。
- ・ D02：モンスーンアジア。平野・河川流域が広がり、農業に適した地域が多いことなど。
- ・ D03：農業用水を得るために河川の水を灌漑へ多く利用し、アラル海へ流れ込む水量が減ったため。
- ・ D04：ガザ地区。
- ・ D05：EC、EU。
- ・ D06：例：羊・ヤクなどの牧畜。乾燥や標高の高さで耕地・居住に適さず、人口が少ない。牧畜と自然条件が対応していれば正答。
- ・ D07：漢民族。沿海部は平野・温暖な気候・工業や都市が集中し、内陸部は高原・乾燥地が多いため人口差が生じる、など。
- ・ D08：モンゴル＝中国とロシアの間、日本＝東アジアの島国、スリランカ＝インド南東沖の島、朝鮮半島＝中国東北部の東、ヒマラヤ山脈＝インド北部。位置関係が合っていれば正答。
- ・ D09：グレートブリテン及び北アイルランド連合王国。
- ・ D10：EU、ユーロ、イギリス（英国）。D05のEC→EUとは別に、統合・通貨・離脱の年表段階を確認する。
- ・ D11：①1910年、②1945年、③1950年・1953年、④1965年、⑤1991年。休戦と終戦を同じ意味にしない。
- ・ D12：①オンドル、②仁川（インチョン）、③釜山（プサン）。
- ・ D13：香港＝1997年・イギリス、マカオ＝1999年・ポルトガル。二地域を混同しない。
- ・ D14：牛。カーストによる差別は憲法で禁止されている。歴史的な身分制度の説明と、現在の法的な原則を区別する。
- ・ D15：①ムハンマド、②メッカ、③ラマダン。断食には年齢・健康状態などに応じた例外もある。
- ・ D16：例：食べられる食材を本人に確認する、礼拝をからかわず必要な時間や場所を相談する。宗教名だけで全員の習慣を決めつけない。
- ・ D17：フランス＝パリ、ドイツ＝ベルリン、イタリア＝ローマ。
- ・ D18：例：関税などの障壁が減り貿易や人の移動が活発になる一方、国や地域の経済格差や雇用をめぐる課題が生じる。効果と課題の両方を書く。
- ・ D19：例：建物や設備の安全、避難経路、長時間労働の防止、適切な賃金。安い製品という結果だけでなく、生産の過程にも目を向ける。

## 採点

---

Aは各指定要素1点で48点、Bは各設問3点で30点、Cは各設問2点で18点、合計96点。記述は意味と因果関係が合っていれば、表現の違いを認める。